

## 軒裏・天井塗替用仕上塗材〔細骨材タイプ〕

# ノキテンバリアシリーズ 低臭



### 特長 軒裏・内部天井に最適な専用仕上塗材

- 透湿性を有する塗膜は、膨れや剥がれの原因となる躯体内の水分を放散します。
- ローラーの施工性に優れ、飛散も少なく、乾燥も早いので、工期短縮・省力化が図れます。
- 塗替時の居住者へも配慮した、低臭タイプの水系ですので、危険物取扱いや有機溶剤中毒の心配がありません。
- 高度なバイオ技術により、かびや藻の繁殖を抑制し、清潔感と美観を維持します。

### 軒裏・天井塗替用透湿形アクリルシリコン系微弾性仕上塗材

#### 【ノキテンバリアSi】

- 自己架橋形特殊アクリルシリコン樹脂により、付着性と耐久性に優れています。
- 微弾性を有する塗膜は、ヘアークラックに追随し、防水性に優れています。

### 軒裏・天井塗替用透湿形アクリル系仕上塗材

#### 【ノキテンバリアA】

- JIS A6909 外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材です。
- 国土交通大臣認定の防火材料です。

国土交通大臣認定  
防火材料  
品目名：有機質砂壁状塗装塗  
NM-8572 QM-9812  
RM-9361

#### 適用素地

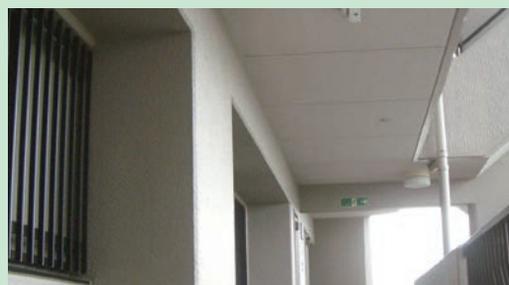
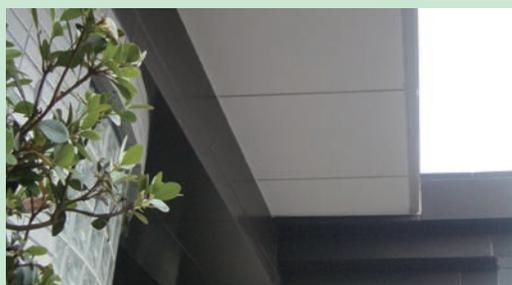
打放しコンクリート  
プレキャストコンクリート部材

セメントモルタル  
スレート

#### 適用既存塗膜

合成樹脂エマルジョンペイント

アクリルリシンなど



## ■標準施工仕様

工程	塗材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法
1	下地処理					<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存塗膜の浮き・膨れ・はがれ・脆弱層などは下地に適した工法で除去する。</li> <li>・汚れ、塵埃やチョーキングなどは、施工環境に適した工法で除去する。</li> <li>・既存塗膜がはがれている場合、シーラーを塗装してから主材塗りを行ってください。 (既存塗膜の段差は同一模様になる塗材で復元してください。)</li> <li>・高圧水洗した場合は、下地を十分に乾燥させる。</li> <li>・漏水が認められる場合には、事前に下地に適した工法で防水処理を施す。</li> </ul>

### ●下塗り 下地が弱い場合

2	下塗り	カチオンシーラー EPO 清水	100 (無希釈)	0.07~0.17	1	2時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り
---	-----	--------------------	--------------	-----------	---	-------	-------------------

注：下地が弱い弱で吸い込みが著しい場合、巣穴が多い場合は、カチオンシーラー EPOまたはカチオンホワイトシーラー EPOを下塗りしてください。  
ノキテンバリア Si

2	主材塗り	ノキテンバリア Si 清水	100 5~10	0.25~0.4	2	2時間以上 (最終養生 24時間以上)	ウールローラー塗り はけ塗り
---	------	------------------	-------------	----------	---	---------------------------	-------------------

### ノキテンバリア A

2	主材塗り	ノキテンバリア A 清水	100 3~5	0.25~0.4	2	2時間以上 (最終養生 24時間以上)	ウールローラー塗り はけ塗り
---	------	-----------------	------------	----------	---	---------------------------	-------------------

## 用途

### 一般建築物の軒裏・天井部 塗替用仕上塗材

製品名	荷姿	色相
ノキテンバリア Si	20Kg	白/調色品(淡彩色・中彩色・濃彩色)
ノキテンバリア A		
カチオンシーラー EPO	14kg	透明
カチオンホワイトシーラー EPO	14kg	白

## ●注意事項

### 施工上の注意事項

- 下地は十分に乾燥させてください。セメント系下地の場合、レイタンス、エフロレッセンスなどは除去してください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上または降雨・降霜・結露などが懸念される場合は、施工を避けてください。
- 材料は十分にかくはんしてから使用してください。
- かすれ、塗り残しなどがないように均一に塗装してください。各工程の間隔時間は、所定の時間を厳守してください。
- 所要量は、標準的な数値です。被塗物の形状や下地の状態・施工方法などによって増減することがあります。
- 施工後、結露や降雨にさらされると、塗膜にシミやムラを生じることがありますので、冬期や雨天の塗装には十分ご注意ください。
- 段差、巣穴、ひび割れ及びボード類のジョイント部などはラフトンカチオンSCフィラーなどで調整してください。(外部でのパテ使用は不可)
- 施工後のローラー、はけなどの用具は早めに水洗いを行ってください。
- シーリング面への施工は、シーリング材の種類、養生期間により、塗膜にはがれ・われ・汚染を生じることがありますので、できるだけお避けください。

### 取扱い上の注意事項

- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。  
・防塵マスク・頭巾・保護メガネ・長そでの作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- 容器から取り出すときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、0℃以上40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記場所の保管は避けてください。  
・雨水や直射日光の当る場所・高温多湿の場所・潮風の当る場所・凍結の恐れのある場所
- 捨てるときには、産業廃棄物として各自治体の処分方法に従って処理してください。

■詳細な内容が必要なおときには、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■カタログに記載されていない下地や仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用前に最寄りの営業所へお問い合わせください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX 059-397-6191  
 技術本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX 059-346-4585  
 札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255  
 大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621  
 九州支店 ☎092-938-0071



URL <http://www.suzukafine.co.jp/>

□本カタログの内容は、改良などのため、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

20/01

取扱店

⑤